



## 平成27年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成27年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 BEENOS株式会社

コード番号 3328 URL <http://www.beenos.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼グループCEO (氏名) 直井 聖太

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長兼グループCFO (氏名) 中村 浩二

TEL 03-5739-3350

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年9月期第1四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第1四半期	4,201	51.2	520		510		385	
26年9月期第1四半期	2,779	1.1	157		128		18	

(注) 包括利益 27年9月期第1四半期 551百万円 ( %) 26年9月期第1四半期 7百万円 ( 89.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第1四半期	31.72	31.58
26年9月期第1四半期	1.65	

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年9月期第1四半期	8,502	5,080	58.6	409.94
26年9月期	7,706	4,557	57.5	365.15

(参考) 自己資本 27年9月期第1四半期 4,978百万円 26年9月期 4,434百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期		0.00		0.00	0.00
27年9月期					
27年9月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 27年9月期の配当予想額につきましては、未定であります。

### 3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	34.9	600		570		330		27.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年9月期1Q	12,266,600 株	26年9月期	12,266,600 株
期末自己株式数	27年9月期1Q	121,000 株	26年9月期	122,800 株
期中平均株式数(四半期累計)	27年9月期1Q	12,144,172 株	26年9月期1Q	11,245,200 株

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。  
前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。  
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
（1）経営成績に関する説明 .....	2
（2）財政状態に関する説明 .....	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2．サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3．四半期連結財務諸表 .....	5
（1）四半期連結貸借対照表 .....	5
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
（継続企業の前提に関する注記） .....	9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） .....	9
（セグメント情報等） .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、前期までに進めてきた「グローアアウト（脱皮）」を完了し、今期の新たな成長戦略テーマとして「クロスボーダー事業で圧倒的No.1」を掲げました。また、昨年10月に商号をBEENOS株式会社に変更し、昨年12月には代表取締役社長の交代により新経営体制を発足させました。

新成長戦略においては、クロスボーダー部門の海外転送・代理購入事業の流通総額の増大による圧倒的No.1の地位の確立、バリューサイクル部門のネット宅配買取分野における圧倒的No.1の地位の確立と海外販路の強化、リテール・ライセンス部門のオリジナル商品・自社ライセンス商品の強化と海外販路の構築を行っていく方針を立て、取り組みを進めております。また、インキュベーション事業においては、新興国を中心とした投資先の育成を進めており、当四半期においてはインドネシアの投資先の資金調達支援を行い、同時に保有株式の一部を売却いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,201,840千円（前年同期比51.2%増）、営業利益は520,993千円（前年同期は営業損失157,011千円）、経常利益は510,382千円（前年同期は経常損失128,891千円）、四半期純利益は385,248千円（前年同期は四半期純損失18,595千円）となりました。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### Eコマース事業

クロスボーダー部門の「海外転送・代理購入事業（FROM JAPAN）」におきましては、訪日外国人の増加や円安による追い風を背景としたインバウンド消費の増加に呼応し、オンラインでも日本の安心・安全でクオリティの高い商品に対する需要がさらに高まってきております。また、当四半期から船便やSAL便の導入による配送手段の多様化を図るなど利用者のニーズに対応したことから、利用者数、売上及び利益ともに好調に増加しております。

「グローバルショッピング事業(TO JAPAN)」におきましては、円安基調の継続による海外商品の購入マインドが低調に推移する中、前期中に実施した取扱いジャンルの増加や留め置きサービスの導入などの施策の効果や、当四半期に実施したスマートフォンのユーザーインターフェースの改善やカスタマーサポートの強化等により、売上の維持に努めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は656,406千円（前年同期比66.7%増）、営業利益は81,175千円（前年同期は営業損失5,456千円）となりました。

バリューサイクル部門におきましては、買取面では前期に実施したTVコマーシャル等の効果により、四半期での買取金額が過去最高となる等好調に推移しております。また販売面におきましては、出品業務の外部リソースの活用により買取の増加に伴う人員不足の影響を補い、売上、利益ともに堅調に推移しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,975,467千円（前年同期比90.2%増）、営業利益は48,100千円（前年同期は営業損失128,221千円）となりました。

リテール・ライセンス部門の「商品プロデュース・ライセンス事業」におきましては、商品開発及び販売強化のための人員増強、販売サイトの機能追加や売上増に伴うサーバー増強等によるシステム費用等の販管費の増加がありましたが、アーティスト関連公式グッズの販売において取扱ジャンルの拡大による売上増加があり、売上、利益ともに好調に推移しております。

「ネットショッピング事業」におきましては、前期に実施したスマートフォン集中戦略への移行が順調に進行いたしました。集客面では新規顧客獲得プロモーションやその後の定着策の奏功で購入者が増加し、商品面ではファッションを中心としたオリジナル商品の販売が好調に推移しております。またスマートフォン集中戦略によるコストの見直しによって販管費が減少したこともあり、2年ぶりに四半期営業利益が黒字化いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,062,818千円（前年同期比12.9%減）、営業利益は55,346千円（前年同期比329.1%増）となりました。

Ｅコマース事業全体では、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,694,692千円（前年同期比39.3%増）、営業利益は184,622千円（前年同期は営業損失120,778千円）となりました。

#### インキュベーション事業

「投資育成事業」におきましては、新興国での投資先への支援を進めると同時に、投資先の成長フェーズに合わせた投資回収にも取り組み始めております。当第1四半期連結会計期間においては、インドネシアのオンラインマーケットプレイス事業のPT Tokopediaの資金調達支援を行い、同時に新規出資者に対して保有する株式を一部売却することにより投資回収を行いました。

「収益化前の新規事業」におきましては、不採算事業となっていたスマートフォンアプリの「知育コンテンツ配信事業」を売却し当該事業から撤退いたしました。またその他新規事業開発を進めていたスマートフォンアプリ関連2事業をスピンオフさせました。

以上の結果、当第1四半期連結累計年度の売上高は507,147千円（前年同期比295.2%増）、営業利益は421,183千円（前年同期は営業利益16,868千円）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### 財政状態の分析

##### （ ）資産

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ796,244千円増加し、8,502,504千円となりました。

内訳といたしましては、流動資産合計が7,437,920千円となり、前連結会計年度末と比べ745,822千円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金201,512千円、受取手形及び売掛金239,560千円、商品127,766千円の増加であります。

また、固定資産合計は、1,064,583千円となり、前連結会計年度末と比べ50,421千円の増加となりました。その主な要因は、のれん74,388千円の増加であります。

##### （ ）負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は3,422,355千円となり、前連結会計年度末と比べ274,092千円の増加となりました。

内訳といたしましては、流動負債合計が3,352,831千円となり、前連結会計年度と比べ273,965千円の増加となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金110,438千円、短期借入金64,496千円、未払金122,410千円の増加であります。

また、固定負債合計は、69,524千円となり、前連結会計年度と比べ127千円の増加となりました。

##### （ ）純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は5,080,148千円となり、前連結会計年度末と比べ522,152千円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金384,140千円、為替換算調整勘定126,415千円の増加であります。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期の通期の連結業績予想につきましては、平成26年10月30日に発表致しました連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,457,537	2,659,049
受取手形及び売掛金	525,684	765,245
営業投資有価証券	1,563,638	1,656,906
商品	844,249	972,015
繰延税金資産	35,824	20,302
未収入金	674,389	674,309
その他	604,934	700,118
貸倒引当金	14,159	10,027
<b>流動資産合計</b>	<b>6,692,098</b>	<b>7,437,920</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	216,007	190,474
減価償却累計額	164,878	143,275
建物及び構築物(純額)	51,129	47,198
工具、器具及び備品	258,955	257,472
減価償却累計額	238,013	238,564
工具、器具及び備品(純額)	20,942	18,908
<b>有形固定資産合計</b>	<b>72,071</b>	<b>66,107</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	133,845	208,233
その他	147,822	137,926
<b>無形固定資産合計</b>	<b>281,667</b>	<b>346,160</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	227,255	218,043
関係会社株式	21,786	23,581
繰延税金資産	14,018	14,638
その他	398,236	396,927
貸倒引当金	875	875
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>660,422</b>	<b>652,315</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>1,014,161</b>	<b>1,064,583</b>
<b>資産合計</b>	<b>7,706,259</b>	<b>8,502,504</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	301,802	412,240
短期借入金	1,004,704	1,069,200
1年内返済予定の長期借入金	20,000	20,000
未払法人税等	95,424	136,284
繰延税金負債	26,170	43,753
賞与引当金	18,800	13,889
ポイント引当金	8,088	7,579
未払金	1,073,208	1,195,619
その他	530,666	454,264
流動負債合計	3,078,866	3,352,831
<b>固定負債</b>		
長期借入金	10,000	10,000
繰延税金負債	6,473	6,410
資産除去債務	52,878	53,068
その他	45	45
固定負債合計	69,397	69,524
<b>負債合計</b>	<b>3,148,263</b>	<b>3,422,355</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	2,725,977	2,725,977
資本剰余金	2,497,114	2,495,982
利益剰余金	882,755	498,615
自己株式	175,031	172,465
株主資本合計	4,165,305	4,550,878
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	34,194	66,904
為替換算調整勘定	234,755	361,170
その他の包括利益累計額合計	268,949	428,075
新株予約権	25,313	24,865
少数株主持分	98,427	76,328
<b>純資産合計</b>	<b>4,557,995</b>	<b>5,080,148</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>7,706,259</b>	<b>8,502,504</b>



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)
売上高	2,779,161	4,201,840
売上原価	1,459,463	1,937,969
売上総利益	1,319,698	2,263,871
販売費及び一般管理費	1,476,709	1,742,877
営業利益又は営業損失( )	157,011	520,993
営業外収益		
受取利息	9	8
為替差益	20,324	-
投資事業組合運用益	3,333	445
持分法による投資利益	2,272	-
その他	7,731	1,345
営業外収益合計	33,670	1,798
営業外費用		
支払利息	3,059	1,867
為替差損	-	10,131
株式交付費	710	-
持分法による投資損失	-	184
その他	1,781	225
営業外費用合計	5,551	12,409
経常利益又は経常損失( )	128,891	510,382
特別利益		
関係会社株式売却益	166,225	-
資産除去債務戻入益	-	25,730
特別利益合計	166,225	25,730
特別損失		
関係会社株式売却損	-	590
減損損失	73,774	-
特別損失合計	73,774	590
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	36,441	535,523
法人税、住民税及び事業税	24,255	127,635
法人税等調整額	39,457	15,090
法人税等合計	15,202	142,725
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	21,238	392,798
少数株主利益又は少数株主損失( )	2,642	7,549
四半期純利益又は四半期純損失( )	18,595	385,248

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	21,238	392,798
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,256	32,709
為替換算調整勘定	56,877	122,869
持分法適用会社に対する持分相当額	-	3,546
その他の包括利益合計	28,621	159,125
四半期包括利益	7,382	551,923
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,025	544,373
少数株主に係る四半期包括利益	2,642	7,549

( 3 ) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

( 継続企業の前提に関する注記 )

該当事項はありません。

( 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 )

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	Eコマース事業				インキュ ベーション 事業	合計		
	クロス ボーダー 部門	バリュー サイクル 部門	リテール・ ライセンス 部門	小計				
売上高								
外部顧客への 売上高	393,679	1,038,862	1,219,857	2,652,399	126,762	2,779,161		2,779,161
セグメント間の 内部売上高又は 振替高			51	51	1,550	1,601	1,601	
計	393,679	1,038,862	1,219,908	2,652,450	128,312	2,780,762	1,601	2,779,161
セグメント利益 又は損失( )	5,456	128,221	12,899	120,778	16,868	103,909	53,101	157,011

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 53,101千円には、セグメント間取引の消去1,607千円、各報告セグメントに配分していない全社収益63,034千円及び全社費用 117,743千円が含まれております。全社収益は、主にグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	Eコマース事業				インキュ ベーション 事業	合計		
	クロス ボーダー 部門	バリュー サイクル 部門	リテール・ ライセンス 部門	小計				
売上高								
外部顧客への 売上高	656,406	1,975,467	1,062,818	3,694,692	507,147	4,201,840		4,201,840
セグメント間の 内部売上高又は 振替高								
計	656,406	1,975,467	1,062,818	3,694,692	507,147	4,201,840		4,201,840
セグメント利益	81,175	48,100	55,346	184,622	421,183	605,805	84,811	520,993

(注) 1. セグメント利益の調整額 84,811千円には、セグメント間取引の消去 6,796千円、各報告セグメントに配分していない全社収益60,870千円及び全社費用 138,885千円が含まれております。全社収益は、主にグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。